

KiK

Vol. 10

2024.3

Topics

大学生との座談会 開催報告



❖ 大学生との座談会を開催しました

令和5年9月7日に、(公財)特別区協議会のインターンシップに参加された大学生、第3回調査研究報告会を聴講された大学生と座談会を実施し、当機構の報告会や研究会などについて、意見交換をさせていただきました。



報告会を聴講したきっかけを教えてください

玉井さん：もともと特別区職員を目指していて、区政会館に情報収集に来ていました。その時に、この報告会があるのを知って、これから区の職員になる場合、区のことを知りたいと思い参加しました。子育て支援^(※1)とタワマンの地域コミュニティ^(※2)の2テーマを聴講しました。

箭内さん：僕も特別区職員を目指していて、区政会館に情報収集を目的に来ていて、その時に知りました。循環型^(※3)と子育て支援とDX^(※4)の3テーマを聴講しました。



報告会を聴講して、どのように感じましたか？

箭内さん：各テーマ、必ず質問がでるほど、活発な意見交換がされていました。

玉井さん：私はもともと子育て支援に興味があってやりたいなと思っていたんですけど、そういう施策もあるのか、といった新しい発見ができて興味深かったです。



報告会の良かった点や改善点があったら教えてください

玉井さん：良かった点は、時代に合ったタイムリーなテーマを研究して、それが各区の施策に繋がっていくというのは画期的だと思いますし、区の採用試験での論文対策で時事問題は勉強していましたが、大学で教わらなかったことなど聞けたことが新しいと思いました。区議会議員の方も質問をされていて、そういう視点もあるんだという発見もあり、結構面白かったです。改善点は、単純に勉強不足だと思うんですが、タワマンの時に、ところどころ「これはどういうことなんだろう」という疑問やわからない点がたまにありました。

箭内さん：良かった点は、23区全体で集まって、行動していくために有効な施策を打ち出すために重要な役割を担っていて、すごく存在意義のある研究だと感じました。



令和4年度
調査研究テーマは
こちら



- (※1) [特別区における未来を見据えた子育て支援]
- (※2) [タワーマンション等大規模集合住宅を含む地域コミュニティの醸成]
- (※3) [循環型経済の推進による持続可能な経済発展に向けて、特別区が取り組むべき施策]
- (※4) [特別区におけるDXの推進～データの取得・分析・活用に向けて～]



参加者プロフィール

箭内 敬太さん (大学2年生)
大崎 杏子さん (大学1年生)
玉井 彩夏さん (大学4年生)
大川 千怜さん (大学1年生)



(左から) 箭内さん、大崎さん、とくべつくま、玉井さん、大川さん



少子化対策の研究会に参加して
いかがでしたか？

大川さん：まだ自分たちには難しいんじゃないかと感じました。実際に研究会に参加してみて、データだけでは、はっきりした原因がわからなかったのも、そんなに少子化の問題をそれほど遠くには感じているわけではないけれども、かといってピンとくるようになったというわけでもなかったです。



大崎さん：私も同じで、私が生まれた年くらいに日本の合計特殊出生率が大幅に低下したので、物心ついた頃から「少子化」という言葉をよく耳にしますが、学校や入試では人が大勢いたのでそれほど少子化は進んでいないと思っていました。しかし、子どもを産める立場になった今、実際にデータを見ると、産みたい、産めない、産まないという考えと、結婚したい、結婚しないという考えは別の話であることがわかりました。今まで、未婚での出産はあまり考えたことがありませんでしたが、そのような考え方があること、それを望む人に向けた施策も必要だということが新たな発見でした。



また、立場ごとに視点が異なるということ学びました。データを分析して報告書の形にするときに、私は単に「このようなデータ、区民の声があるんだ」と衝撃を受け、驚くことしかできませんでした。それに対し、

研究会に参加されていた方々は、専門家ではない人が報告書を見てどう感じるか、データから読み取れる内容をどう文章化すべきか、と、様々な視点から議論を展開していました。これから先、私は複数の考え方や視点を身に着けなければならないと感じました。



関心のある研究テーマは
ありますか？

玉井さん：貧困の連鎖にはずっと関心があるのと、子育てしている中で、やっぱり金銭的な支援も大事ですけど、孤独っていうのも最近注目されているテーマではあると思うので、ひとり親世帯だったり、虐待が生じている家庭だったりというところの、何か困難抱えている人たちの子育て支援っていうのは関心があります。もう一つは、中小企業の支援です。コロナもあって、結構倒産した企業もあるんですけど、今は大手企業じゃないと生き残っていけない感じになっていると思うので、昔ながらの伝統のあるお店とかを守ることも大事なかなと思います。



箭内さん：ゼロカーボンシティは学科との学びと深く結びついているところがあるので、かなり興味があります。

大崎さん：子育て支援にも関わりますが、女性や少子化の研究会の中で、産みたくても産めない人は経済格差が原因の根底にあると思います。昔は限られた人だけが大学に通っていたのが、今ではほとんどの人が高校に進学していて、特に私の周りでは大学進学が当たり前です。このような状況下で、私立大学も、国立大学でさえも学費が増えています。特別区が行うことではないかもしれませんが、学費の免除やそれに代わる給付金など、もう少し学費が抑えられても良いのではないかと思います。そして、意欲のある誰もが勉学に励むことができれば、将来の選択肢も広がり、結果的に貧困状態を改善することもできると思います。

ほかにも、研究会のあり方や機構の情報発信ツールについて意見交換させていただきました。

座談会にご参加くださった学生の皆さん、ありがとうございました！



令和5年度 調査研究報告書のご案内

令和5年度1年間の研究成果として、次の6テーマの調査研究報告書を特別区長会調査研究機構ホームページに掲載しています。

テーマ

帰宅困難者対策における 初動対応体制の確立に向けた取組み (港区提案)



参加区

港区、千代田区、中央区、文京区、台東区、墨田区、品川区、目黒区、渋谷区、足立区

概要

帰宅困難者対策における初動対応体制の確立に向けて、国、都、民間事業者等との連携の強化の方策について、一斉帰宅の抑制の周知・啓発など重点取組事項の課題と現状を整理し、今後さらに検討すべき事項を示しました。

テーマ

水素を中心とした クリーンエネルギーの利活用推進 (大田区提案)



参加区

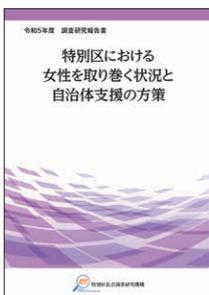
大田区、中央区、世田谷区、江戸川区、東京二十三区清掃一部事務組合

概要

2040年頃までを目途に、特別区において「水素をはじめとするクリーンエネルギーが社会インフラとして定着し、経済活動の中に組み込まれた社会」を実現できる環境を整備するため、エネルギー施策の今後の方向性を「3つの方針と8つの取組」として示しました。

テーマ

特別区における女性を取り巻く状況と 自治体支援の方策 (世田谷区提案)



参加区

世田谷区、文京区、豊島区、荒川区

概要

特別区に暮らす女性が自らのライフコースを選択できるよう、23区アンケート調査や女性区民へのアンケート・インタビュー調査、民間支援団体へのアンケート・ヒアリング調査に基づき課題を整理し、今後特別区が取りうる方策の方向性について提言しました。

テーマ

複式簿記・発生主義会計に基づく 財務書類の活用策 (中野区提案)



参加区

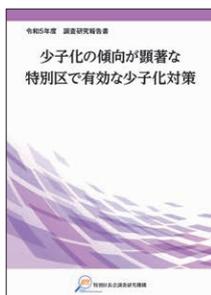
中野区、品川区、目黒区、世田谷区、杉並区

概要

複式簿記・発生主義会計に基づいて作成している財務書類を、区の財政状況を区民等に幅広く公表するだけでなく、予算編成時における参考情報とするなど、区政運営への具体的な活用策の検討・提案を行いました。

テーマ

少子化の傾向が顕著な 特別区で有効な少子化対策 (葛飾区提案)



参加区

葛飾区、港区、江戸川区

概要

合計特殊出生率の向上につながる有効な少子化対策について調査し、未婚者のうち「結婚意向はあるが制約があって婚活ができていない」層、「結婚意向がなくても子どもを持つ意向がある」層、既婚者のうち「今後子どもを予定しているが制約があって妊活ができていない」層、「理想の子ども数と現実の子ども数にギャップがある」層に向けた施策・事業についての示唆を整理して示しました。

テーマ

特別区におけるCO₂の地産地消に向けて ～清掃工場のCO₂分離・活用と23区の役割～ (東京二十三区清掃一部事務組合提案)



参加区

東京二十三区清掃一部事務組合、新宿区、大田区、足立区、葛飾区、江戸川区

概要

2050年「ゼロカーボンシティ特別区」の実現に向け、清掃工場を核としたCO₂分離・回収を目指すほか、各区のプラスチックに由来するCO₂の発生抑制・再使用・再生利用を促すとともに、産業連携を通じた廃棄物の利用（原料や燃料）についても調査研究に着手することを提言しています。

令和6年度調査研究テーマのお知らせ

特別区長会調査研究機構では、令和6年度は5テーマについて、調査研究を行います。
テーマ名と研究の目的を紹介します。

● 継続テーマ

テーマ 帰宅困難者対策における
初動対応体制の確立に向けた取組み

提案区 港区

参加区 港区、千代田区、中央区、文京区、
台東区、品川区、目黒区、渋谷区、
足立区

Q 都内の帰宅困難者の
想定数は？

答えは裏表紙を見てね！



● 新規テーマ

テーマ 区民等の理解と信頼を
深めるための情報発信の
あり方

提案区 港区

参加区 港区、新宿区、台東区、品川区、
世田谷区、渋谷区、中野区、杉並区、
豊島区、荒川区、江戸川区

テーマ 生活保護受給者の日常生
活上の支援の現状と今後
の課題

提案区 大田区

参加区 大田区、新宿区、杉並区、荒川区

テーマ 特別区における老朽マン
ション対策の推進

提案区 大田区

参加区 大田区、新宿区、荒川区、足立区、
東京二十三区清掃一部事務組合

テーマ 生成AIを活用した特別区
におけるDXの推進

提案区 葛飾区

参加区 葛飾区、台東区、江東区、
品川区、大田区、世田谷区、
中野区、豊島区、
東京二十三区清掃一部事務組合



特別区長会調査研究機構とは

設置目的

平成30年6月15日、特別区長会は、特別区及び地方行政に関わる課題について、大学その他の研究機関、国及び地方自治体と連携して調査研究を行うことにより、特別区長会における諸課題の検討に資するとともに、特別区の発信力を高めることを目的として、「特別区長会調査研究機構」（以下「機構」という。）を設置しました。

平成31年4月から、広く特別区の行政運営に資する課題等について調査研究を行っています。

組織

●理事会

令和6年3月末現在

理事長	吉住 健一 (特別区長会会長・新宿区長)
副理事長	前川 耀男 (特別区長会副会長・練馬区長)
	近藤やよい (特別区長会副会長・足立区長)
	斉藤 猛 (特別区長会副会長・江戸川区長)
理事	樋口 高顕 (千代田区長)
	服部 征夫 (台東区長)
	森澤 恭子 (品川区長)
	酒井 直人 (中野区長)
	山本 亨 (墨田区長)
常務理事	入澤 幸 (知識経験者)

●顧問

令和6年3月末現在

神野 直彦 (東京大学名誉教授)
広井 良典 (京都大学教授)
市川 宏雄 (明治大学名誉教授)
藁谷 友紀 (早稲田大学教授)
宮本みち子 (放送大学／千葉大学名誉教授)
清原 慶子 (杏林大学客員教授、こども家庭庁参与 (前三鷹市長))
高橋 行憲 (社会福祉法人馬島福祉会理事長、株式会社A・Y・Aホールディングス代表取締役)
青山 侑 (明治大学名誉教授)
矢田 美英 (元特別区長会会長 (前中央区長))



特別区長会調査研究機構 顧問の大森彌氏（東京大学名誉教授）が、令和5年9月18日、急逝されました。ここに謹んで哀悼の意を表し、お知らせいたします。

事業

●事業の方針

- 機構独自の調査研究活動のほか、各区、他自治体、大学その他の研究機関、研究者等から調査研究テーマの提案を募集し、機構の研究テーマとした課題について、機構が事務局となり、提案者と機構の職員・研究者、各区の参加希望者等をメンバーとして共同の調査研究を行う。
- 機構発の提案等について、広く公表するほか、事業化する特別区等に対して事業立ち上げの支援を行う。
- 特別区の行政運営に関連する事項について機構に寄せられた提案、先進的な調査研究成果や事業の取組み事例等、機構の業務に関連する情報をホームページ上に掲載する。
- 調査研究に当たっては、全国の自治体との連携に留意する。

1 調査研究事業

各区から提案のあった研究テーマについて、基本1年間の調査研究を行う。調査研究は、プロジェクト方式により、学識経験者、各区職員、その他関係者の参加を得て進める。あわせて、次年度の調査研究に向けて、テーマの選定及び研究プロジェクト体制の構築等を行う。

2 情報収集・発信事業

各研究プロジェクトの進捗状況や調査研究の成果は、随時ホームページや本機関紙に掲載して公表する。

- ホームページの運用管理
- 機関紙の発行（年2回）



Kuchokai
Institute for Research and Study

特別区長会調査研究機構

事務局 公益財団法人 特別区協議会

〒102-0072

東京都千代田区飯田橋 3-5-1

(公益財団法人特別区協議会内)

TEL 03-5210-9053 FAX 03-5210-9873



A 『約452万人』

被害想定によれば、都内では約452万人の帰宅困難者が発生すると想定されています。

(出典) 首都直下型地震等による東京の被害想定報告書 (令和4年5月)

大きな地震が起きたら、安全のため、慌てて帰らないでね



特別区長会調査研究機構

YouTube 公式チャンネル

PR動画・調査研究報告会
動画配信中!



YouTube 特別区長会調査研究機構

検索

▶ <https://www.youtube.com/channel/UCIvSEdZwc-gXWmdSGF4OFaA>



この製品は、FSC® 認証材、再生資源、およびその他の管理原材料から作られています。

リサイクル適性 (A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

ホームページ <https://www.tokyo23-kuchokai-kiko.jp>

パソコン・スマートフォン・タブレットからご覧いただけます。

特別区長会調査研究機構

検索

